市民病院事業について

市川勝斗（まちだ新世紀）

問　市民病院経営の基本方針について、市長のビジョンは。

市長　地域から求められる医療機能の確保、体制の一層の強化が市民病院の使命であると考えています。企業性を高めるために地方公営企業法の全部適用を実施します。

問　救急医療の現状と課題は。

市民病院総院長　救急医療は、病床利用率の向上に必須です。それが病床稼働率を上げるので、病院はそういう課題も真剣に取り組まなくてはいけないと思い検討中です。

問　魅力のある市民病院創設に向けての考えは。

市長　コストが削減されているから、このサービスでいいということが患者様から見えたらおしまいです。その辺が期待される病院かどうかの分かれ目かと考えています。

町田市民病院（南棟１階ホール）

市民利用施設の利便性向上を

佐藤洋子（日本共産党）

問　地域センター等の使用料引き下げや、附帯設備の点検、充実、町田市文化交流センターの料金設定を見直し、忠生市民センター建てかえを促進し、図書室の時間延長など充実を図るべき。

生活文化担当部長　今後も受益者負担の原則にのっとり、利用者に適正な額の負担をお願いしていくところです。

企画部長　忠生市民センターの建てかえは、中期経営計画で、二〇一〇年度検討着手という形で位置づけています。

生涯学習部長　忠生地域の図書館の設置は、忠生市民センターの建てかえ計画の中で検討します。

問　市民病院の周産期医療スタートに当たり、市長は都に財政支援を求めるべき。

市民病院事務長　市長会の重点要望として都知事に財政支援を要請しています。

公有緑地の有効活用について

上野孝典（公明党）

問　中心市街地に対する潜在的オフィスビル需要に向けた政策が必要と考えるが。

町田副市長　中心市街地活性化計画の中で地域のグランドデザインを考え、この中でオフィスビルも含めた地域デザインを検討していきたい。

問　公有緑地の有効活用として、見晴らし台の整備や隣接市道の拡幅を進めるべきだ。

環境・産業部長　園路整備等を目的とした最小限の整備を行い、自然と楽しめるよう整備に努めます。公園緑地を道路用地に転用するには慎重な対応が必要と考えています。

問　特養ホーム四〇〇床の公募が開始されるが、どのような効果や特色が期待されるのか。

岩崎副市長　積極的に市民の優先入所をすることにより、入所待機者を一〇〇名程度に減らしていきます。

横断的な公共事業の運営を！

川畑一隆（公明党）

問　廃棄物最終処分場の調査・検討を踏まえ、埋め立てる際に、新庁舎建築工事等で排出する土砂の有効活用を求める。費用削減の予想は。

市長　新庁舎の建設と最終処分場の覆土側の工事費を合わせると一億四、〇〇〇万円程度節減ができると思います。

問　（仮）健康づくり推進条例制定や（仮）健康推進センターの整備を求める。

岩崎副市長　条例制定については先進自治体の調査研究を実施したい。また、健康推進センターの整備については、保健所設置の基本的な考え方を策定する中で方向性を整理していきたい。

問　町田ブランドとは何か、市民への利便は何か。

市長　市民にとって誇れると同時に全国から目標とされるような魅力ある都市イメージをつくり出すことです。

市民への減税対策を求める

高嶋均（日本共産党）

問　介護保険の要介護一以上の対象者に障害者控除認定書を送付すべきだが。

保健介護推進担当部長　障害者認定書の発行については、保険料納付書や被保険者証等の送付の際に他の制度とあわせて直接周知を図っていきます。

問　後期高齢者医療制度について広域連合で独自に軽減したところなので、市独自の軽減については考えていません。

問　旧公団居住者に一部建てかえの方向が打ち出されたが、市長の見解は。

町田副市長　居住性の向上の面では一定の検討は必要と考えていますが、一部建てかえそのものについては都市再生機構の判断を尊重すべきと考えています。

公有緑地の有効活用について

三遊亭らん丈（まちだ新世紀）

問　町田市内にある横浜線の「駅メロ」を、町田にふさわしい曲に変更するようＪＲ東日本に働きかけてはどうか。

岩崎副市長　実際に変更した事例などを参考にしてＪＲと協議していきたいと考えています。

問　市職員の異動に当たって、過去の希望履歴を把握できるように変更してはどうか。

総務部長　希望が生かされるということは、モチベーションにつながるのは事実ですので、一つのアイデアとして受けとめたいと思います。

問　地方公務員法二八・二九条を、市職員と市民にさらなる周知を図るよう望む。

総務部長　職員の勤務実態を見て市民が行政訴訟を起こすことは、その職員の責任の結果として、自治体に損害を与えていればあり得ると理解しています。

これからの公共工事入札を問う

おく栄一（公明党）

問　経営事項審査の改正を通し、市内業者を含め関連企業に対して、どう取り組むのか。

総務部長　市内事業者育成の観点から必要な場合は、制度改正等の検討をしていきたいと考えています。

問　組織改正に伴い、産業観光課が行う市民相談に、どう対応を図っていくのか。

環境・産業部長　産業観光課につきましては組織、体制等もこれまでと大きな変化はありません。

問　前回、質問以降、鶴川駅南口開発の進捗状況を問う。

区画整理担当部長　現況測量など基礎的な調査は行っていますが、現在のところ、具体的な着手には至っていません。今後は町内会、地権者など多くの方に参加していただき、今後の方向性などを話し合う場を設けていきたい。

未利用地の有効利用を求める

おさむら敏明（自由民主党）

問　芹ヶ谷公園用地（国際版画美術館の前、町田荘跡）について、駐車場整備をするなど、市民要望にこたえ、有効活用を求める。

町田副市長　国際版画美術館へのお客様の利便性も考える必要があり、何らかの利用方法を考える必要があると考えています。暫定的な利用方法も検討に値すると考えており、駐車場も視野に入れていきたい。

問　特別養護老人ホーム建設には、市所有の未利用地の売却、定期借地するなど活用を図る考えはあるか。

企画部長　中期経営計画の中で行政経営改革プランで「資産を有効活用した市民サービスの展開」として「公共施設跡地の効果的な活用」という中で今の質問も踏まえて検討していくことになるかと考えています。

よりよい街づくりを進める為に

新井克尚（民主党・社民ネット）

問　多発するマンション等の紛争をなくすために街づくり条例を改正すべきでは。

町田副市長　条例では早い段階から関係者で話し合いを重ねる仕組みを定めており、これまで一定の役割を果たしていると考えます。

問　大規模土地利用転換に対応するには運用では不十分。改正に向けた研究を、市民とともに行っていくべき。

町田副市長　いろいろな団体の意見を聞きながら、足りないところがあるのかも含め、よりよい街づくり活動に対する支援方策を検討したい。

問　解散総選挙時に施設の確保ができるよう条例を改正し周知徹底すべきと考える。

生活文化担当部長　今後、地域センター条例をより明確な表現に改正し、利用者に対しては使用を取り消すことがある旨の周知を徹底したい。

学校給食の「食の安全」確保を

佐々木智子（日本共産党）

問　学校給食における「食の安全」確保の体制は、小・中学校それぞれどうか。

学校教育部長　食材購入基準は小中学校共通で、できる限り国産品、添加物のないものを使用し、手づくりで行うこととしています。

問　ひとり親家庭への就業相談や、資格取得講習の受講料補助金増額など就業支援策を拡充すべきだがどうか。

子ども生活部長　窓口は、よりわかりやすくするよう工夫したい。自立支援教育訓練給付金事業を実施するため、要綱等の作成を行っています。

問　市民の健康を守る立場で、年に一度の健康診査は無料にすべきだがどうか。

保健介護推進担当部長　受益者負担は、公平性ということもありますが、健康について意識をしていただくためにも必要と考えています。

横浜線の「駅メロ」の変更を！

笑顔あふれるまちだに

熊沢あやり（自由民主党）

問　育児休業明けに、保育園に入園することができない。対策をどう考えているか。

子ども生活部長　建てかえたり、分園、認証保育所、新しい保育園もつくってきました。そういう全体の中で待機児を解消していく。特に一歳、二歳が多いので、そこに重点的に力を入れていきたい。

問　高ヶ坂団地～町田二中辺りのコミュニティバスの運行は考えているか。

都市計画部長　昨年九月に高ヶ坂・成瀬地区コミュニティバス運行推進委員会が立ち上がっており、既に四回の委員会が開催され、協議、研修等が行われています。

問　市役所での事業所内保育を考えてみてはどうか。

子ども生活部長　新庁舎は、もう設計ができていますので、なかなか難しいと思っています。